

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 阪急桂駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法令を遵守したスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切である	○			適切な人数を確保している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		フルフラットな床面でバリアフリー対応している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		子供たち目線の配置や整理を心掛けている。	トイレの清掃はこまめに行っていく必要がある。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日常的な相談、協議により業務改善に努めている。	PDCAサイクルの本格導入に至っていないが日々協議を重ね業務の改善に努めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		必要に応じ各種アンケートを行い保護者のニーズ確認と業務改善に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価結果は事業所内に掲示するほか当社HPで公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			現在は利用者、事業所の二者評価となっている。今後必要に応じ第三者による外部評価については引き続き検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			初任者研修や全職員対象の定例研修を実施しており、行政等外部の研修にも積極参加している。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			定期的にアセスメントを行い保護者からのヒアリングに基づきサービス計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			社内統一の様式にもとづき、目標ごとの達成度と課題を踏まえて評価している。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			アセスメントをもとに複数の項目を組み合わせサービス計画を作成している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を保護者と共有し、それに沿って支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			基本的には担当指導員が立案しているが共有作業などはしている。全社的なノウハウの蓄積システム「支援の工夫集」も整備している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			一人一人のニーズにあわせオーダーメイドの療育を行っている。毎回のフィードバックで保護者の声も十分に伺っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			個別活動により支援計画を作成しているが、小集団療育も行っており考慮している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		基本的には個別支援ではあるが、必要時は役割分担などは確認している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		緊急課題を除き、必要時に適宜情報を共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			社内の統一書式で毎回記録をとり、支援に生かしている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			計画期間（6か月）ごとにモニタリングを実施し、それに基づきサービス計画を見直している。
	関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じ保護者の了解を得て関係機関と連携している。
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在のところ対象者無し。

の 連 携	⑳	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在のところ対象者無し。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の要望と園側了承があれば連携を取っていく。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要時は適宜対応する。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		日ごろから積極的な連携に努めている。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		現在は交流できていないが、多様な意見があることから保護者の希望を十分に伺い交流の在り方を検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉕	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	行政区や学区の協議会に積極的に参加している。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		フィードバックの際に保護者のお声をしっかり伺い、課題等に関する情報を共有し、支援に生かしていく。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		定期的に行っている。 今後、回数も増やしていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明するほか、事業所に運営規程等を掲示している。利用者負担等は毎月の請求時に説明している。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	アセスメントをもとに複数の項目を組み合わせサービス計画を作成している。	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	事業所内相談支援としてや、フィードバック時など、必要に応じて保護者の子育ての悩み等の相談に応じている。	

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			小集団療育などを通じて保護者相互の情報共有や連携促進に努めていく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			管理者が苦情相談窓口になり、苦情等があれば迅速、適切に対応している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報等は発行していないが、ブログを随時更新するほか、必要に応じ保護者へのお知らせを配布している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			パスワードの設定、鍵付き書庫、シュレッダーの利用、職員研修等により個人情報の保護に留意している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			特性に応じてアプローチを工夫している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		個別療育であり個人情報保護の制約もあるが、自治会にも加入しており地域交流の手法等を検討していく。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に各災害に合わせ、毎月避難訓練等を実施している。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			来所時の様子や指導時の声かけにより状況を確認している。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食事やおやつの提供はしていないが、対策は講じている。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例発生の場合は上司への報告、職場での情報共有を行い、再発の防止に努めている。
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に内部研修を実施し、行政等の外部の研修にも参加している。
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			マニュアルを策定し研修を実施し、やむを得ず身体拘束の必要が生じうるお子さまについては保護者のご理解を得たうえ個別支援計画に明記している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」阪急桂駅前校

保護者等数（児童数）：23 回収数：19 割合：83%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	3				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3		1	休まっている人がいると大変そう	適切な人員を配置していく
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	2		1	隣の様子が気になり学習に集中できない	配慮した部屋割りを行っていく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	1			トイレが汚い時がある 幼児用便座などきちんと欲したい	こまめにチェックして清掃をしていく
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	3		1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16			3		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1		1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	3		1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	3	7		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	2				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	4	1	4		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18		1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	6	7	5		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	2	1	1	悩みに迅速に対応して支援してくれて有難い	継続して親身に対応していく
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	4				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	2	1	5	ラインでのお知らせは助かっている	継続してライン発信に力を入れていく
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	1		3		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	2		8		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3		9		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	17	2			悩みに迅速に対応して支援してくれて、子供にも気長に付き合ってくれて有難い	継続して親身に対応していく

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。